

科目名	専門演習A/専門演習(情報)	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	石井 忠夫、桑原 悟、梅原 英一		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-3-410010	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>「情報とシステム」を専門分野とする学生を対象とし、オブジェクト指向型の情報システム開発手順とオブジェクト指向用図式記述法(UML)を学ぶ。さらにコンピュータシステム化する具体的な課題を用いてオブジェクト指向による分析、設計、実装を実地に体得する。Visual Basicを実装に用い、オブジェクト指向による分析、設計の結果がコンピュータ上で正しく動作することを確認する。</p> <p>本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。</p> <p><情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。></p> <p><情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。></p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・UMLを使ったオブジェクト指向分析、設計、プログラミングの方法を理解できるようになる。(50%) ・簡単な問題に対し、オブジェクト指向モデルでの開発ができるようになる。(50%) 				
実務経験との関連性	担当教員は、企業における実務経験経験がある。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション及びオブジェクト指向設計の概念
第2回	UMLの概要と要件定義(ユースケース分析)
第3回	UMLの概要と要件定義(ユースケース分析)

第4回	動的モデリング（シナリオ分析）
第5回	静的モデリング（オブジェクト分析）
第6回	オブジェクト指向モデリングの実例
第7回	オブジェクト指向設計による住所録システム
第8回	オブジェクト指向設計による住所録システム
第9回	VisualBasic2005とオブジェクト指向プログラミング
第10回	VisualBasic2005とオブジェクト指向プログラミング
第11回	オブジェクト指向プログラミングによる住所録システムのプログラム作成
第12回	オブジェクト指向プログラミングによる住所録システムのプログラム作成
第13回	オブジェクト指向開発演習の整理

第14回	成果発表と評価（1）
第15回	成果発表と評価（2）
第16回	実施しない

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間、配布テキストを予習する。
【復習】時間・内容	2時間、配布資料および毎回の演習内容を復習する。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート、実習および理解度テストで、情報システムの企画、設計、構築の方法に関する理解度を評価する。（50%） ・オブジェクト指向技術を実際の問題解決に応用できる力を、システム実装結果及び成果発表により評価する。（50%） <p><フィードバック法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間内で実施する課題、宿題については授業内で解答例を示す。また、実装方法、報告内容については、授業時間内で教員が講評する。
フィードバック方法	毎回の課題の解答例を後日に解説する。また、演習の後半（14、15回目）に成果発表会を実施し、その内容について評価コメントする。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	参考書：ジョセフ・シュムラー著、長瀬嘉秀監訳 「独習UML」 翔泳社 3600円 テキスト「専門演習A」を配布する。
受講上の留意点等	・この演習は全体が1つの流れになっている。欠席すると演習課題が不連続になり円滑に学習できない。できる限り欠席しないこと。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：E